

1 自治体名	2 関係部署名	
兵庫県	兵庫県青少年本部	
1 行政課題の分野	2 支援施策の分類	3 対象とする世代
安全・安心な暮らし	生活・居住支援施策	中高生を含む若者
4 事業者の協力を求める内容	5 困りごとの解決・解消に向けた対応期間	
解決に向けた資金・資材等の提供	今年度中(R8年度)にすぐに対応したい	
6 解決・解消に要する費用に対する考え方		7 補足資料の有無
社会貢献として無償協力願いたい		あり

1 困りごとと事業者に期待する内容(要約)

家庭と学校・職場以外の第三の居場所へのニーズが高まっているが、居場所運営は収益事業に馴染まず、運営資金や資材の確保に苦慮しているため、企業等からの資金や資材の提供を期待する

2 現状の行政課題

○地縁など伝統的な共同体の希薄化が進み、若者を取り巻く人間関係も大きく変化しています。さらに、SNSの普及により、常につながっている一方で、承認欲求への疲れや孤独感を抱える若者も少なくありません。

○このような状況の中、利害関係にとらわれずリアルに集い、安心して仲間たちと過ごせる「若者の居場所」へのニーズは高まっており、ボランティア団体やNPO等による取組も広がりつつあります。しかし、その多くの活動は不安定であり、さらなる支援が必要となっております。

3 行政課題に対する施策(事業)展開による対応状況と困っていること(課題)

○青少年本部においては、居場所支援の必要性に鑑み、県内の居場所をつなぐ居場所ネットワークを立ち上げ、情報交換や意見交換会議などを開催しておりますが、居場所運営は収益性が低く、継続的な運営が課題となっております。資金や資材面での支援も必要となっております。

○地域企業等の皆様にとっても、こうした居場所づくりを支援し、若者との接点を築くことは、地域社会への貢献だけでなく、将来の人材との関係構築や企業価値の向上にもつながることが期待されると考えています。

4 企業・団体に「困りごと」解決に向けて連携や協力を求める内容

○現在、青少年本部では「ひょうご子ども・若者応援団」事業を展開し、企業等から寄付(資金や物資)をいただき、県内の青少年団体への助成や活動に必要な物資のマッチングを行っています。(補足資料として、応援団事業のちらしを添付しています)

○ここに新たに「若者の居場所運営枠」を設け、企業等から寄付いただいた資金を原資として、居場所運営に取り組む団体を支援していきたいと考えています。助成を受けた居場所には、企業等からの寄付により運営している旨を明記したいとも考えております。